明峰

令和7年5月30日
第 5 号
校長　岡野利男

※5月が終わります。
体育大会が終わり、向かうは市中総体!!
しかしながら、今号はあえて、「学び」について。“勝負”と無関係ではないはずです。

ー親子で確認してくださいませんかー

先日

ご協力くださり、

さて、昨日は、私たちの職場体験活動に協力してくれてありがとうございました。大野さんをはじめ、お店の皆さんに親切に指導してもらい、多くの学びを得ることができました。

この体験活動をするまで、私は、生花店で働くことについて、華やかなイメージしかもっていなかったのですが、皆さんに教わりながら、一つ一つ仕入れた商品を下処理したり、葉や花びらが落ちていないように気を付けたり、花を長持ちさせる方法や花言葉を勉強したりすることを通して、華やかさの裏には、それを支える作業や専門的な知識があることを知りました。

左の文章は職場体験活動でお世話になった生花店の店長さんへのお礼の手紙です。既に、2か所について、訂正がなされていますが、まだ訂正が必要な個所が複数あるようです。見つけられますか?また、その個所をどのように訂正しますか?できれば、親子で取り組んでほしい…(>_<)。

実生活に結び付けてクイズのように問いましたが、これは、実は本年４月１７日に実施された「全国学力・学習状況調査『国語』」の問題です。つまり、現3年生が挑戦した国語の問題です。

正答例は次のとおりです。

① 指導してもらい
→指導していただき
② 一つ一つ仕入れた商品を下処理・・・
→仕入れた商品を一つ一つ下処理
③ 二段落目の文章が長すぎる
→2文に分ける。

1つでよいので、訂正すべき箇所を正せば正答となるのですが、私の予想では、この問題の正答率はさほど高くないと思っています。特に、③のように、文章の長さに着目し、伝わりやすい文に訂正することは、長崎県の子供たちの長年の課題なのです。本校3年生の正答率はいかに…、7月には明らかになります…。

さあ、2段落目の文章、どこで分けて、どのような接続詞を用いて訂正したらよいものでしょう・・・。

生活に密着した大切な問題です。

さて、生活に密着した・・・、同様の観点から今年度の全国学力・学習状況調査「数学」のこの問題は、どうでしょう。

> オレンジの果汁が４０％含まれている飲み物があります。この飲み物ａmL にオレンジの果汁は、何 mL 入っていますか。ａを用いた式で表しなさい。

この手の問題も、長らく本県の子供たちの課題としてあがってきました。今回も、正答率は4割を下回るのではないかと思っています。(正解は、0.4a mL あるいは、2／5a mL です。)

aが仮に、200という数字だったら、つまり、200mLのオレンジジュースに何mLの果汁が入っているかということになります。こんな場面、当然ながら、日常茶飯事のこととして私たちは経験します。

「学ぶ」ことは、日常を丁寧に考え、より良く暮らしていくことにつながります。我々教職員の果たすべき「授業改善」と、ご家庭での会話は、子供たちにとって、生きて働く知識・知恵への両輪です。

～上海高校生との国際交流学習～

中国語、英語で楽しく交流　諫早・明峰中 × 上海の学生

ダンス披露や質問…　互いの文化学ぶ

去る23日(金)に、鎮西学院高校の協力を得て、同高校の姉妹校である上海アリーテバインリンガルスクールとの交流学習が行われました。その様子が、一昨日の長崎新聞に掲載されました。(諫早市教委と長崎新聞社の連携協定により、このような新聞記事の活用について著作権上の問題はクリアされています。)

「英語を用いてコミュニケーションを図る」その必要性に真に迫る取組となったこと、大いなる収穫でした。そして、言語によるコミュニケーションの大前提として、思いやりの心が何よりも大切なことを子供たちが証明してくれた日となりました。